

2024年11月21日

まず、オープニングセレモニーが行われました。研修員代表による挨拶に続き、カンボジア教育・青少年・スポーツ省の PUT Samith 副長官閣下より歓迎の挨拶が述べられました。また、JICA カンボジア事務所の代表者および広島大学を代表して吉田和浩教授より、研修に対する謝辞が述べられました。



オープニングセレモニーの後、教育省計画局の Neth Sophorn 氏より、カンボジア教育省が策定した「教育戦略計画 (ESP) 2024-2028」に関する講義が行われました。主な内容は、人材育成と教育の質向上、デジタル化推進、スポーツや若者支援を含む包括的な教育改革の計画についてでした。課題として、教員不足や教育の地域間格差を挙げ、これらを解決するための具体的な戦略を示されました。続いて、Dr. Kann Puthy 氏は、“POLICY IMPLEMENTATION OF PRIMARY EDUCATION IN CAMBODIA”という題で、カンボジアの教育についての発表を行いました。カンボジアのこれまでの教育開発の歩みや教育政策の現状について説明されました。その後、初等教育の政策実行内容について、基礎教育の例をもとに紹介しました。初等教育のリーディングや数学カリキュラム、学校給食支援、図書館活動などについて実際の活動の写真などをもとに説明されました。



午後は、研修員 2 名によるノウレッジ・レポート (Knowledge Report) が行われました。カンボジアからは Soun Chealy 氏、南アフリカからは Lesang Sebaeng 氏が登壇しました。彼

らは、これまでの日本で受講した研修内容を振り返りながら、自国における喫緊の教育課題を示しました。その上で、本研修で得た知識を自国でどのように応用できるかについて検討を行いました。

